

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

基本情報技術者試験 平成 25 年度秋期試験の出題傾向分析について

日頃は、FOM 出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

10月20日(日)に実施されました基本情報技術者試験・平成25年度秋期試験の出題傾向を分析いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 午前問題の出題傾向

今回の秋期試験のカテゴリ別、問題形式別の出題傾向は次のとおりです。

※参考までに、平成24年度秋期・平成25年度春期試験の数値も記載しています。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	出題数		
		H24 秋	H25 春	H25 秋
テクノロジ系	基礎理論	12 問	9 問	10 問
	コンピュータシステム	16 問	14 問	15 問
	技術要素	20 問	19 問	20 問
	開発技術	6 問	8 問	5 問
テクノロジ系小計		54 問	50 問	50 問
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	3 問	4 問	5 問
	サービスマネジメント	5 問	6 問	5 問
マネジメント系小計		8 問	10 問	10 問
ストラテジ系	システム戦略	4 問	5 問	7 問
	経営戦略	8 問	8 問	6 問
	企業と法務	6 問	7 問	7 問
ストラテジ系小計		18 問	20 問	20 問
全合計		80 問	80 問	80 問

●問題形式別

問題形式		出題数		
		H24 秋	H25 春	H25 秋
用語	用語の説明や関連する用語を選択する問題	37 問(46%)	29 問(36%)	37 問(46%)
事例	具体的な事例に基づいて解答する問題	26 問(33%)	33 問(41%)	26 問(33%)
計算	数値や計算式を求める問題	17 問(21%)	15 問(19%)	14 問(18%)
データベース	データベース設計の知識が問われる問題	0 問(0%)	3 問(4%)	3 問(4%)
合 計		80 問 (100%)	80 問 (100%)	80 問 (100%)

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 午後問題の出題テーマ

今回の秋期試験の午後問題で出題された取り扱いテーマは次のとおりです。

※参考までに前回の春期試験の出題テーマも記載しています。

午後試験の分野		選択 / 必須	出題テーマ	
			H25 春	H25 秋
コンピュータ システム	ハードウェア	7 問中 5 問 選択	カラー画像	論理演算と加算器
	ソフトウェア		仮想記憶方式	(出題なし)
	データベース		会員情報を管理する 関係データベースの 設計と運用	選手情報を管理する 関係データベースの 設計及び運用
	ネットワーク		(出題なし)	インターネットプロトコルの アドレス表記
情報セキュリティ			IC カードを利用した 入退室管理システム	VPN (Virtual Private Network)
ソフトウェア設計			社員の歩合給決定処理	ソフトウェアのテスト設計
マネジメント	プロジェクト マネジメント		ソフトウェア開発の品質管理	プロジェクトの実績管理
	IT サービス マネジメント		(出題なし)	(出題なし)
ストラテジ	システム戦略		(出題なし)	販売管理システムの 見直しを伴う業務改善
	経営戦略・ 企業と法務		市場分析と需要予測	(出題なし)
データ構造及びアルゴリズム		必須	食料品店の値引き処理	文字列の圧縮
ソフトウェア 開発	C	5 問中 1 問 選択	ケーブルテレビ局が提供する サービスの料金計算	辞書順での文字列の比較
	COBOL		従業員へ支給する 特別給の算出	テニスコートの予約
	Java		あみだくじ	木構造の生成
	アセンブラ		ビット列の置換え	数字列の時間と数値の 秒との変換
	表計算		製品の製品計画	受講学生のグループ分け

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

3. 公開問題分析

【午前問題】

シラバス(Ver3.0)全体から幅広く出題される傾向や、カテゴリ別の出題数の傾向、過去問題からの流用が多い傾向はこれまでと同様であり、基本的な用語が理解できているかを問う問題が出題されています。

例えば、頻出用語である「WAF」「アプレット」「モーフィング」「ストアドプロシージャ」「オブジェクト指向」「SaaS」「コアコンピタンス」「デジタルディバイド」などは、今回も出題されています。

この傾向から、これら頻出用語を確実に習得し、過去問題を繰り返し解くことが合格への近道であると言えます。

また、シラバスに記載されていない内容として、「サラミ法」「BYOD」「静電容量方式タッチパネル」などが出題されています。比率としては、これまでと同様に 1 割弱程度ですが、これらの新出用語への対応には IT 技術に対する幅広い知識が求められています。

【午後問題】

全体的には、標準的な難易度と言えます。

データベースの問題は、野球で管理する勝敗などのデータ設計が出題され、野球が好きな人には取り組みやすかったと考えられます。

ネットワークの問題は、最新技術である IPv6 のアドレス表記の問題が出題され、すでに普及している IPv4 と比較して、IPv6 の普及は今後であることから、やや取り組みにくかったのではないかと思います。

「ソフトウェア開発」の選択問題については、「Java」は比較的解きやすい内容でした。「表計算」は、近年の傾向では問題が長文化していましたが、今回は短文化され、読解に要する分量が減ったため、他の言語と比べると、難易度は標準的かやや易しいと言えるでしょう。

4. 試験動向

試験の応募者数が、また大幅に減少しました。

新試験移行後の平成 21 年度以降、応募者数は減少傾向にあり、平成 23 年度は震災の影響によりさらに減少しました。それ以降も、年間 1 万人を超える減少幅となっています。

年度	春期	秋期	合計
平成 21 年	90,752 名	107,800 名	198,552 名
平成 22 年	92,108 名	100,113 名	192,221 名
平成 23 年	(特別)88,001 名	82,090 名	170,091 名
平成 24 年	75,085 名	79,674 名	154,759 名
平成 25 年	66,667 名	76,020 名	142,687 名

新試験移行後の平成 21 年度以降、難易度は次のような推移となっています。
 今回の試験は、午前問題・午後問題ともに、例年並みの標準的な難易度でした。
 合格率も同じようになると考えられます。

回数	試験	難易度	合格率
1 回目	H21 春	やや難しい	27.4%
2 回目	H21 秋	やや易しい	35.4%
3 回目	H22 春	標準的	22.2%
4 回目	H22 秋	標準的	23.4%
5 回目	H23 特	やや難しい	24.7%
6 回目	H23 秋	標準的	26.2%
7 回目	H24 春	標準的	23.7%
8 回目	H24 秋	標準的	27.1%
9 回目	H25 春	標準的	23.0%
10 回目	H25 秋	標準的	未発表

5. 当社テキストのラインナップについて

当社の基本情報技術者試験教材のラインナップは下記のとおりです。ぜひ、ご利用ください。

No.	テキスト名	概要	提供時期
1	基本情報技術者試験 対策テキスト 平成 25-26 年度版 型番:FPT1213 価格:2,200 円(税別)	シラバス(Ver2.0)にそって必要な知識を解説する教科書兼参考書。 プログラム言語は「表計算」の解説のみ収録しています。 ※プログラム言語「C」「COBOL」「Java」「アセンブラ」の解説は収録していませんので、ご注意ください。	好評発売中!
2	基本情報技術者試験 直前対策 2 週間完全プログラム シラバス Ver2.0 準拠 型番:FPT1220 価格:1,500 円(税別)	シラバス(Ver2.0)に記載されている用語の中から、出題傾向の高い用語を抜粋して解説した用語集。 ※プログラム言語「C」「COBOL」「Java」「アセンブラ」「表計算」の解説は収録していませんので、ご注意ください。	好評発売中!

以上